

議事録

会議名：第34回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2010年8月28日PM1時33分より
- 場所：岡山大学・一般教育棟・B棟23教室
- 構成員：35名
- 参加者：湯村正仁、渡邊道德、小倉 肇、藤原崇郎、木原資裕、榊 康守、福井悦郎、草間益良夫、村井慎治、山神眞一、石井博貞、境 英俊、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、黒田隼也、湯原将人、葛西辰伍、藤井友美子、中山佳祐、宇都宮良泰、小原啓示、月本翔太、明石靖子、後藤将仁、下向井 徹、山本哲平、宮崎義大、上田晴加、正村良太（以下委任状により出席と見做す）大城戸 功、香川直己、竹内善一、近藤秀俊、久保仁了 以上35名、オブザーバーとして、近藤裕樹

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：明石靖子

E-mail： [REDACTED]（不明点はこちらへ）

Summary：

- 議題1：第33回理事会議事録確認
- 議題2：中四幹事会報告
- 議題3：全日学連「理事会・常任理事会」報告
- 議題4：全日本オープン大会について
- 議題5：次回リーゼミ企画案
- 議題6：剣友会の報告
- 議題7：全剣連「剣道有功賞」について
- 議題8：その他

●議事

1. 第33回理事会議事録確認

8. 剣友会報告の第5回全日学連剣友剣道大会の開催場所が「中村スポーツセンター」に変更になったことが報告され、議事録を承認した。

2. 中四幹事会報告

報告者：月本翔太

- (1) 中四国学生剣道連盟機構改革について
 - ・ 8月の幹事会をとり止めること。この時期は大学がテスト期間中であるため、学生の負担が大きい。
 - ・ 優勝大会抽選は、パソコンによるランダム抽選を行うことで、公正な抽選を目指す。
 - (2) 連盟会計の改正について
 - ・ 連盟費（15千円）を廃止し、個人登録費（2千円→3千円）を値上げすることによって減収分の穴埋めと前述の幹事会を廃止し、優勝大会の打合せを兼ねた常任幹事会を開催し交通費を全員に出す経費を捻出する。
 - ・ 連盟費（15千円）を廃止せず、部員がいなくなった場合でも加盟団体とした方が、再び連盟に加盟するときの手続きが難しくなるのではないかという意見もあった。
- 以上を踏まえて幹事会で検討する。

3. 全日学連「理事会・常任理事会」報告

報告者：黒田隼也

- (1) 平成21年度決算・監査報告があり、承認された。
- (2) 鳥居会長による講演会の実施について
 - ・ 役員及び大会に出場した選手全員で拝聴した。
- (3) トーナメントソフトの使用について
 - ・ 女子の一部に2回戦で同大学が対戦するケースがでたが、これを学生役員で調節することとなった。今後もソフトを使用するが、前述の状態が起こった場合は、東西で調整することとした。
- (4) 平成22年度6月現在における中四国学生剣道連盟の登録人数（877名）について
- (5) 大会時の声援について
 - ・ 西日本大会において、大会時の声援がうるさ過ぎることが問題になった。今後全日学連としては、意図的な声援の禁止を徹底させることが報告された。
- (6) オープン大会について
 - ・ 第7回オープン大会は、平成23年12月17・18日に北海道立総合体育センターに於いて開催する。
 - ・ 第8回大会は中四国連盟に於いて開催することを次回理事会にて審議する予定である。
- (7) 平成22年度男子団体、女子団体の大会日程について
 - ・ 全日本学生剣道大会 10月31日 大阪府立体育館
 - ・ 全日本女子学生剣道大会 11月14日 春日井市体育館
- (8) 平成23年度全日本学生剣道選手権大会について
 - ・ 関西連盟主催にて開催され、1日目の大会終了後は例年通り合同稽古が行われる。
- (9) 全日本学生剣道連盟60周年記念（第61回全日本学生剣道選手権大会時）について
 - ・ 全日本学生剣道連盟創立60周年記念行事を行う方向である。
- (10) 平成23年度以降の日本武道館使用について
 - ・ 平成21年5月25日付けで当連盟からお願いし、日本武道館より内定を受けた日程は以下の通り確認された。

平成23年度 10月23日（第4日曜）	1日開催	全日本学生剣道優勝大会（男子）
平成24年度7月7日8日（第1土・日曜）	2日間開催	全日本学生剣道選手権大会（男子・女子）
		全日本学生剣道東西対抗（男子・女子）
平成25年度10月27日（第4日曜）	1日開催	全日本学生剣道優勝大会（男子）

(11) 審判委員からの報告

- ・全日本剣道連盟主催の大会における今後2年間については、背中目印と垂型目印を併用で行うことが報告された。
- ・竹刀検査による中結いのゆるみへの対応として、従来通り不正竹刀として扱うが、今後優勝大会から中結いのゆるい場合は再検査を行う。
- ・竹刀の柄に各大学と氏名以外の書き込みがあれば、検査の対象外とすることとなった。
- ・髪の高い選手は髪ゴム等で短く束ねさせ、背中目印が見えるようにする。
- ・出場選手がオーダー通りになっていない場合は、当該選手およびその入れ違いの選手を負けとする。

4. 全日本オープン大会について

報告者：石井博貞

- ・平成25年に中四国連盟において開催することとした。
- ・広島グリーンアリーナ、広島サンプラザ、愛媛県武道館における概算予算書が示された。
- ・数点の問題点が示された。日程、参加人数、試合種目、想定以上の参加申込があった場合の問題点、審判員の交通・宿泊費（中四ではボランティア審判員は難しい）、補助員等の問題点がある。
- ・大会予算としては黒字大会が見込める。

5. 次回リーゼミ企画案

報告者：小原啓示

- ・平成21年度リーゼミは尾道ふれあいの里で実施された。今年度は3月に江田島において昨年同様に審判講習や合同稽古を行うことを予定している。
- ・平成23年3月12日～14日は第5回全日学連剣友剣道大会と日程が重なるが、留守部隊で行うこととする。

6. 剣友会の報告

報告者：矢野宏光

- ・平成22年11月28日に愛媛県総合運動公園体育館サブアリーナにて大会が開かれ、前日の11月27日には稽古会と懇親会が予定されている。大会の当日にはサッカーやフットサルの試合も行われているので、出場選手や役員には、駐車場における注意が必要である。

7. 全剣連「剣道有功賞」について

報告者：木原資裕

- ・推薦もなく、昨年は青野先輩が有功賞をいただいたということもあり、今年は該当者なしとした。

8. その他

- ・メールの不具合に対応するため、新しいサーバに変更することが報告された。
tyushi.net → XXXXXXXXXX（ホームページサーバーも順次変更予定）
- ・橋本健蔵先輩から顧問を辞任したい旨申し出があったが、引き続き顧問をお願いすることとなった。
- ・青野晃治先輩から有功賞のお礼として寸志を頂いたが、丁重にお断りしたことが報告された。
- ・青木恒男先輩から体調を崩したので暫く大会に参加できないと渡邊副会長から伝言があった。

以上の議事を終え、本会は午後14時55分、議長が閉会を宣言して散会した。
上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 22 年 8 月 28 日

中四国学生剣道連盟 第34回理事会

署 名 人 廣 畑 栄 三

署 名 人 明 石 靖 子



● 次回 MTG

日 時 : 2010年12月11日

場 所 : 広島県立総合体育館・地下1階・中会議室